

labor union

労働組合



労働組合～病院とともに歩んだ80年～



労働組合

1946年2月24日、北信病院従業員組合（現労働組合の前身）が結成され、まもなく80周年を迎えようとしています。私たちは、長野県厚生連労働組合の中の北信総合病院支部として活動しています。

従業員の生活安定と文化の向上を主なスローガンとして、年間を通じ様々な活動をしております。コロナ禍を経てスタイルが変化した活動もありますが、直近1年間の主な活動をご紹介します。

5月には中高地区メーデーが行われます。医療・介護情勢への改善要求や、平和への願いを込めたプラカードを持ちながら中野市内を行進します。このメーデーは新入職員を中心に参加体制が生まれ、今年は50人程が参加しました。

平和への活動も労働組合の大切な活動の一つです。北海道から始まり、最終は広島または長崎に横断幕を届ける「国民平和行進」にも参加しました。中野市役所で出発式が行われ、夏空の下小布施町役場までの約9キロを行進します。



7月には、長野県厚生連体育大会がありました。長野県厚生連 9 事業所＋本所の野球部、排球部、卓球部が日頃の練習の成果を発揮して戦います。当日は有志での応援団も会場へ駆けつけて運動部の皆さんを応援します。2025 年は当院が当番病院となり、中野市・飯山市を会場に行われました。



毎年 7 月は中野市民祭「シヨンシヨン祭」に「北信総合病院連」として参加します。



11 月には病院祭があります。労働組合は「お祭り広場」エリアを担当し、ポップコーン・綿あめ・餅つき等の飲食ブース、射的等のアトラクションブースの運営や、組合活動の一つでもある署名活動を行いました。



組合には、文化部・体育部・厚生部・教宣部・青年部・女性部・医療活動部という 7 つの専門部と看護改善委員会があります。組合員相互の親睦・交流や福利厚生の充実、安全衛生の確保や労働環境整備を目的に、各部・委員会が知恵を出し合い活動しております。

今後も、病院で働くすべての職員が安心して働ける環境を守り、より良い医療・看護・介護サービスを提供できるよう、病院とともに歩んでいきたいと思ひます。

労働組合役員、書記局体制

執行委員長	仲條 照 (リハビリテーション科) (～2025.6.13)
	鈴木 泰了 (防災・災害対策課) (2025.6.13 ～)
副執行委員長	徳武 学 (南 5 階) (～ 2025.6.13)
	仲條 照 (リハビリテーション科) (2025.6.13～)
書記長	市村 貴徳 (南 6 階) (～ 2025.6.13)
	徳武 学 (南 5 階) (2025.6.13 ～)
書記次長	西澤 由美 (専従) (～ 2025.6.13)
	児島 有美 (西 7 階) (2025.6.13 ～)
組合専従	西澤 由美 (専従) (～ 2025.6.13)
	宮澤卓 (専従) (2025.6.13 ～)